

会 議 録

議 題	第1回大垣市中学校部活動地域移行検討委員会			
日 時	令和5年10月3日		場 所	大垣市役所 6F 会議室 6-3、6-4
	10:00～12:00		事務局	教育委員会事務局
出席者 (欠席者)	竹内治彦委員	長谷川哲也委員	傍聴者数	1人
	高橋正紀委員	松村麻里委員	記録方式	全文・要約
	寺元陽子委員	横尾宣幸委員		
	川瀬尚志委員	山口敏文委員		
	高橋淳委員	小竹康一委員		
	原川拓雄委員	(西脇義照委員)		

【発言】

○ 構想案の中核となる基本的な考え方（案）について

（委員）地域移行後の「新たな地域クラブ活動」が、社会教育の一環であるという部分については、スポーツや文化活動を充実させていくという点でその通りである。

（委員）「学校の部活動の教育的意義を継承・発展させる」とあるが、完全に学校から切り離すのではなく、今後も学校と地域とが連携を図り、子どもたちの生きる力を育むことが重要である。

（委員）特別な配慮が必要な子どもたちもいることから、「新たな地域クラブ活動」でも同様の配慮がなされ、一人も取り残さない課外活動といったSDGsの理念なども含めて、実現できるように進めていくことが欠かせない。

（委員）「競技志向だけではなく、発達段階やニーズに応じた多様な活動ができる競技や文化活動を通して」という点では、プログラミングやeスポーツといった新たな可能性をこの機会に広げること考えられる。

(委員) 競技志向に走らないようにするためには、指導者の研修や講習のプログラムも必要になってくる。

(委員) 中学校と地域が協力して、新たな地域クラブ活動の体制をつくるにあたっては、新しい仕組みを作るくらいの覚悟が必要である。

(委員) 今回の構想の中核となる基本的な考え方(案)については、概ねこれでよいと思うが、この理念を貫いていくことが大切である。

特記事項	
------	--

主宰者等 署名
